



Covid-safe

ポナン プロトコル

Sail with confidence

安心して航海するために



協力機関一覧





ジャン エマニュエル ソウヴェより

弊社の保有船舶は全てフランス船籍として世界で最も高い安全基準で運行しており、またクルーズ業界におけるもっとも包括的、最新の医療施設を備えています。これまでの多くの年数をかけて多額の投資の元、安全、セキュリティ、環境、医療分野における最先端の技術を導入して参りました。今日、弊社はその流れを汲み、更に前進する上で新たな先端技術を船内の医務室に導入しコロナウィルスへの対応を強化致します。

未曾有の危機に対しては弊社の陸上勤務社員と乗組員の素晴らしいプロフェッショナルリズムで乗り越えることが出来ました。クルーズ業界で珍しい弊社の小型の船舶（平均乗客定員：170名）であったからこそ迅速に複合的な対応策を講じる事が出来ました。

ご乗客、乗員の全員の安全を守る為に現時点で可能なあらゆる対応を施し、船内へのウィルスの侵入を防ぎます。

最も重要な要素としては乗船する100%の人（乗客、乗員）を全てのクルーズで管理し、全員に対して2重の保護を行います。乗船時のスクリーニングを徹底と消毒を徹底することを厳しい船内の公衆衛生プロトコルに追加し、またクルーズ中のバリア対策も徹底致します。

これらの対策を実施することで安全な休暇を実現し、安心して航海頂ける様に尽力致します。

ジャン エマニュエル ソウヴェ (JEAN EMMANUEL SAUVÉE)
PONANT 代表取締役社長

現在世界が必要としている対策 へのポナンの指針

小型で守られた船

小型船は外部の接触リスクを心配することなく乗客の航海を可能としています。船という衛生バブルの中で外の世界に触れることなく自由に動き回る事が出来ます。乗船時には全員がギャングウェイを通りチェックポイントを通過致します。船が小型だからこそこういった明確な導線の確保とその船内での具体的な衛生上の対策を施すことが出来ます。

安全で公衆衛生と環境に適した保護策

- 創業以来、弊社は小型船でしか訪れる事が出来ない世界でも厳しく保護されている地域をご案内してきました。こういった敏感な土地を訪れるには弊社の30年を超える経験と専門性の高いチームの努力によって地元、国際的な機関との折衝と厳しい基準での許可を取ってきたことが可能にしています。
- 30年以上に渡って小型船を所有することで、弊社の事業を進める上での全てのリスクを把握することが出来、エクスペディションも含めた運行を可能としています。複数の指針と医療的資源が運用されてこそ乗客、乗員の安全を確保することが出来ます。
- ポナンの船舶は全てフランス国籍となっており、設置が義務となっている機器の基準の高さから世界で最も安全な船と言えます。弊社では常に安全と環境面で必要とされることに順守しております。





PONANTの新たなプロトコルの 厳しい基準について

目標

コロナウィルスから隔離された衛生バブルと船がなり、その環境を継続すること

用いる手段

- グローバルに展開される観光、宿泊、クルーズの最も高い基準でのテクノロジー、人的、資材を用いて感染症対策を実施する
- 2重の保護方針を適用する：船内の衛星基準に加えて、徹底したスクリーニングと消毒を乗船時に実施する
- 毎日船内の状況を確認し運行中のクルーズのコロナウィルス対応が出来ているか確認する

専門性

- PONANTの高い専門性と医療分野との連携：あらゆる手順の確認、船内の機器、本社医療チーム、船内の医療従事者と医務室
- 2020年1月から実施しているプロトコルの継続的な改善
- 世界の専門家との連携：マルセイユ大学医療センター、マルセイユ消防署、仏海軍など

3つの盾

- 乗船者の厳しいスクリーニング
- 船内の徹底した衛生プロトコルの実施
- 日々の状況確認とモニタリング（お客様、機器・資材、船舶など）

6つのキーポイント

- 最も洗練された船内医務室と高い専門性の医療チーム
- 商品、搬入物への厳格に管理された手順
- 船内全域における継続的、システマチックな清掃と消毒の実施
- 空調内での除菌と空調管理
- 船内でのアクティビティとパブリックエリアの利用方法の管理
- 衛生プロトコルに準じた上陸行動



コロナウィルス対応
エリアにおける3つの盾



コロナウィルス対応 エリア (船内) である船内への乗船条件

乗船前に

ご乗客全員がコロナウィルス対応エリアへのアクセスプロトコル下で管理

- PONANTの衛生プロトコルに従ってゲストジャーニーを理解して頂く
- メディカル チェックイン
- 健康質問書
- 乗客による自己検査を船へ向かい出す前に実施。健康診査とスクリーニングを踏まえての乗船
- 個人の所有物の消毒を行うエリアを設ける
- 検温の実施

全ての荷物、搬入物については除菌/消毒プロトコルに準じて対応



コロナウィルス対応 エリア(船内)を保護する

乗船する全員が義務付けられた衛生プロトコルを順守しなければならない
船内のあらゆるエリアを完全に除菌する

- 感染予防の備品一式を提供(布マスク、サージカルマスク、除菌シート、除菌スプレー、消毒ジェル...)
- ご乗客:廊下の通過時のマスク着用を義務化、他エリアでも推奨
- 乗組員:お客様に対峙する場所ではマスクかフェイスシールドの着用を義務化
- 2メートルのソーシャルディスタンスとバリアジェスチャーの維持
- プロトコルに従った強化された清掃・洗浄を殺ウィルス製品を用いて各エリアで実施
- 清潔で循環された空気 (ページ18へ)
- 自動体温測定器を要所に設置(ギャングウェイ、レストラン入口など)
- 医療的判断の元での船内でのPCRテストの実施



コロナウィルス対応 エリア(船内)のモニタリングを継続

船上での乗客と乗員の衛星状況のトラッキングシステムの構築

- PONANT医療チームにより日々の医療管理:PONANT本社医療チームと船上の医師と看護師
- 医務室により日々のモニタリングと診断 (ページ15へ)
- 衛生管理上最も重要な地点でのウィルスが発生していないことの確認(毎クルーズ10か所)
- コロナウィルスに対応している機関から直接の連絡、関与かアドバイスが迅速に入る体制作り:マルセイユ大学医療センター、海洋医療相談センター、マルセイユ消防署など
- 国際的な機関が設けるコンプライアンス、ルール、プロトコルの順守: CDC (アメリカ疫病予防管理センター)、WHO (世界保健機関)、厚生省、観光機関など
- 協力機関とのコロナウィルス対策済の認証制度の策定

プロトコルの概要： ご乗船への流れ



**WHOガイドラインに応じた適正なソーシャルディスタンスの確保

- (1) フランス国内のクルーズは除く (2) 発着地が自宅から長距離の場合は3日前
 (3) 必須検査：陽性の結果、また陽性者と出発14日前までに接触している場合は渡航を控える。
 ポナンから送られた様式に沿って検査の実施を行う
 (5) 各地の衛生当局の指示に基づいたソーシャルディスタンスの確保。
 ポリネシア1.8m/6ft, オーストラリア、日本2m/6.5ft, その他1m/3.2 ft。



乗客、乗員の**100%**が 乗船前に同様にモニタリング

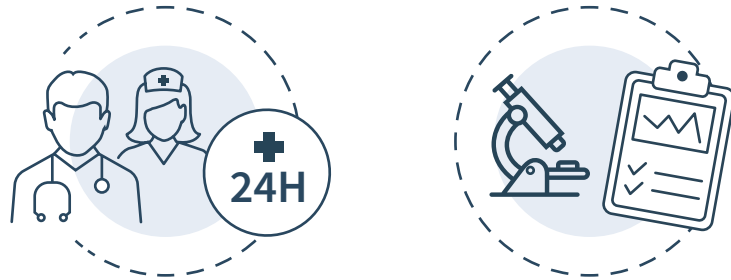
(1)PONANT医療チームによって乗船拒否される場合

検査結果が陽性の場合、検査が72時間より前に受けたものの場合(別の選択肢もあります)

宣言された隔離が実施されなかった場合、PCR検査後の強制隔離が順守されなかった場合

体温が38度以上の場合、症状が見受けられる場合

1 | 医務室



最低でも1名の医師と1名の看護師が乗船している体制

- リスクとプロトコルの訓練を受けていること
- 24時間、週7日対応可能な体制
- 必要になれば増員出来る体制

業界における最も先進的な設備を船内に備えていること

- 隔離された環境で迅速な診断を行うための医療機器として、モバイルラボ端末を設置。これにより、インフルエンザ、連鎖球菌性咽頭炎、デング熱、マラリア、HIV、消化器感染などの感染症または熱帯病を現場でテストを可能にする
- 各船に高度な診断機器を設置：超音波、放射線および血液生物学的分析； 心臓病（梗塞、塞栓症、心不全、リズム障害など）、呼吸器または消化器、整形外科的外傷、創傷縫合、複雑な包帯、抗凝固療法または糖尿病の監視の管理と安定化を可能にします...

各船にコロナウィルス対応で医薬品をアップグレードし、PCRテスト機を2台搭載し

全員を検査可能な状態を維持

緊急医療避難計画を策定し訓練を繰り返し、緊急事態には隔離地区を設置する：

常に5部屋を緊急用に用意

2 | 食材と備品の仕入れ



全ての搬入に予防的措置を施す

- コロナウィルス対応済地域を特定する
- 噴霧器かUVランプを通過する形で除菌ゾーンを設置し全ての搬入物を通過させる
- 燻蒸、塩素浴または溶液、高圧蒸気または過酸化水素製品による食材及び備品の消毒

プロトコルに準拠した形で陸上及び船内で取り扱われることを保証

- 乗船プロトコルに応じて、予め乗船が許可された者しか乗船できない仕組みを徹底
- 外部のサービスプロバイダーとの接触を行わない
- 船と港の間に適切な中間エリアを構築する
- 必要に応じてマスク、手袋、防護服などの着用
- ソーシャルディスタンスを保つ
- システム化された除菌体制

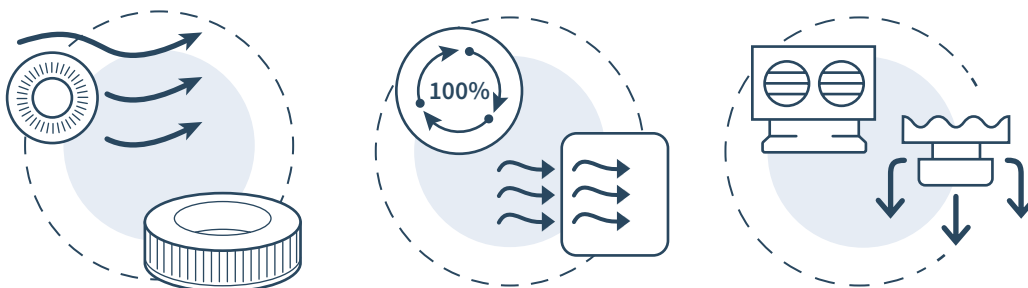
3 | 清掃と除菌



最も効果的な製品である殺ウイルス剤Ecolab PEROXIDEによる各所のシステム化された洗浄(細菌、バクテリアの100%除去、および生物学的汚染に対応)

- 客室は1日2回
- パブリックエリアは毎日
- 頻繁に利用される場所(ドアのハンドル、手すり、一部の家具)は1時間毎
- ゾディアックを利用する度に都度
- マリーナに戻る際の靴底の除菌
- 海事機器の利用毎

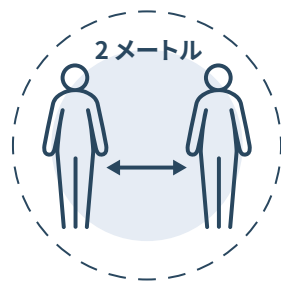
4 | キレイな空気



空気の循環と衛生管理

- 客室の100%外気換気(空気の再循環を行わない)
- パブリックエリアの空気を最低1時間に5回換気
- UV滅菌システムを装備した換気処理ユニットを使用したウイルス除去
- クリーンエアダクトシステムと換気ユニットの継続的なメンテナンス
- 少なくとも各クルーズ中に1回、各船のエアコンフィルターの清掃と消毒
- 懸念がある場合には都度換気ダクトの隔離と消毒
- 外気に懸念がある場合に換気を遮断する可能性を追求
- 船内特定の場所を隔離し、気圧を変える仕組みの可能性を追求
- 換気する空気の適切な湿度の調整は既に可能

5 | 船内でのアクティビティとパブリックエリア



ソーシャルディスタンスを取る

- パブリックエリアの利用定員を制限する。フィットネスエリア、レストランとシアター利用率50%、ブティックには最大2名までなど
- シアターでのエンターテインメントは少人数グループに分散
- レストランのレイアウトの変更
- 朝食、昼食：営業時間を延長
- 夕食：乗客総数に応じて1、または2回制で提供。プールデッキのレストランは営業する場合のみ予約制となる
- ゾディアックの利用の際は1隻の乗客上限を6名とする

対応されたホテルサービスの提供

- レストランはアラカルトで給仕する形のみでビュッフェは廃止、非接触式
- 各スペースのレイアウトを改める
- スパのトリートメントのサービス内容の変更、美容室は手袋とフェイスシールドの着用

厳しく管理された外部との接触

- 船内と外部の接触を厳しく管理
- 例外なく事前の健康調査とモニタリング下のみでプロトコル*に準じて乗船

地元衛生当局の指示に基づいて、必要に応じて客室の外で船内を移動する場合は、マスクを着用を義務化。

6 | 上陸行動



コロナウィルス対応エリアは船から上陸先までを含める。
これらの移動手手段も同様に除菌され管理する。

ショアエクスカージョンは感染症が収束している地域で実施する：

- ご乗客は健康に関する指針に基づいて適切に案内される
- 常に2メートルのソーシャルディスタンスを保つ
- 訪問中の適正距離を保つ為のバリアジェスチャーと振舞いが求められる
- マスクは上陸中、常に着用
- 再乗船の際は、検温と適正な除菌手順が行われてのみ可能とする
(乗客と荷物ともに)
- 医療チームは常に上陸時の内容について把握する

アラートの場合

乗船している誰かにコロナウィルスの症状が見受けられた場合：

- 医療チームによる迅速な対応
- 船内のラボを活用した診断
- 保護された場所での厳格な隔離
- 陸側の医療サービス、本部との情報交換、折衝、指示
- 陽性が確認された場合、適切な処置を施した上で地域の医療施設へ搬送
- ただちに接触者の洗い出しと隔離、必要に応じた検査を実施
- 運行クルーズへのリスク評価を実施
- プロトコルに応じた感染が疑われる全ての場所の完全な除菌を行う

更なる情報と更新は以下を訪問下さい（英語）
WWW.PONANT.COM/SAIL-WITH-CONFIDENCE

